



公民館報

海陽

4月号
No.96

文化村HP
QRコード



QRコードに
アクセスすると
海南文化村HPが
閲覧できます。

海陽町教育委員会 2023年4月1日発行

令和4年度

海陽町公民館大会



「ゆすはらづくり」
とした地域の再活性化」

府地域活性化伝道師・前梶原町長 矢野 富夫

富夫

氏

令和4年度 海陽町公民館大会

テーマ：「地域の『夢』を育む公民館活動」
～地域住民による主体的な地域づくりの支援～

令和4年度公民館大会は、

「地域の『夢』を育む公民館活動」をテーマに掲げ、公民館が地域住民による主体的な地域づくりを支援することで、持続的に発展する「人づくり・つながりづくり・地域づくり」

へとつなげることを趣旨

に、令和5年3月5日（日）午前10時から海南文化館で3年ぶりに開催しました。

開会行事でははじめに、海陽町公民館 辻 芳昭よしあき



海陽町公民館 辻 芳昭館長

館長が、日頃の公民館活動へご協力頂いていることに感謝の気持ち述べられ、コロナ禍の中関係者のご協力を得て開催することができたこの大会を機に、力を合わせてさらなる活発な公民館活動を行いますようにとあいさつされました。

続いて三浦茂貴町長が、この3年間コロナ禍で様々な活動が変更、中止され、われわれの生活が一変する中、皆様とともに今日



三浦茂貴町長

まで生活を乗りきってこられたのも、公民館単位できめ細やかな活動をして頂いたおかげであり、今後とも公民館活動にご協力頂きたいと祝辞を述べられました。

内閣府地域活性化伝道師、



高知県梶原町長 矢野富夫氏

前高知県梶原町長^{ゆすはら}の矢野富夫氏を講師に迎え、「わくわくする小さな拠点ゆすはらづくり」〈集落活動を核とした地域の再活性化〉というテーマで講演会が行われました。コロナ禍ではありましたが、町内の

公民館関係者を含め110名の皆様のご参加を頂きました。講演会では、地方創生を「生きる仕組みづくり」ととらえ、生き残るためには地方自治経営の考え方や仕事の仕方を整理する必要があること、それ

には社会の変化に対応した地方自治経営のビジョンをつくり、住民と自立に向けて取り組むことが必要であると熱心に話をされました。「生きる仕組みづくり」の実践例として、人口減少を抑える効果を上げている仕組みである6つの小さな拠点「集落活動センター」の具体的な取り組みについて、スライドを使ってご紹介頂きました。講演終了後も参加者と講師とが質疑応答を交わす光景が見られ、最後まで懇切丁寧な対応を頂き、各地域の公民館活動にとっても参考になる素晴らしい内容でした。

今後、穴喰・海部・川東・川上・浅川の各5地区の公民館が、地域住民の主体的な活動を支援する仕組みを整えて行くことが望まれます。そのために、地域住民と役員職員とがそれぞれの持ち場で、参加する地域の皆さんがわくわくするような企画や活動で力を合わせ、「夢」を育んでいきたいものです。

（講演内容に興味のある方は、内容を記した資料がありますので、ご連絡ください。）

▼問い合わせ：海陽町公民館
（海南文化館内）
電話 73-3100



地域コミュニティの中で

― 様々な体験や触れ合いの場において ―

社会教育指導員 小泉 博

日の出時刻の散歩が心地よい爽やかな季節になりました。気まぐれにコースを選び、ゆつたりとした時間の流れの中で、闇夜とのコントラストが美しい朝焼けを横目に、子どもの頃走り回っていた風景を思い出しながら、のんびりと自然の変化を楽しんでいます。

時間の捉え方は、多種多様ですが、最近、映画や音楽等を何倍速で視聴する人が増えているという報道がありました。早く全容を知りたい、時間の節約、会話についていきたい…。理由は様々あるようですが、めまぐるしい時代の変化に少々戸惑ってしまいます。ここ数年、インターネットの普及に伴い、より早く結果を求めるようになり、利便性・効率性・人とのつながり等々、生活スタイルが急速に変わってきました。無くては生活

は成り立たなくなると、確かに効率化が進み、より便利な世の中になっていっていると感じています。

しかしその反面、新たなマイナス面も生まれているように思います。特に、心を痛めるのが人権侵害につながるケースや事件が増加していることです。ネット上での排他的攻撃、詐欺行為、ハラスメント等々、顔の見えないネット上のみのつながりや自己承認を満たす世界観の共有、個人情報拡散等々。様々な情報が飛び交う今日、常に確かな人権意識を持つことが大切であり、人がネット社会にコントロールされてしまわないかという心配さえしてしまいます。

家庭・学校・地域コミュニティの中で、顔が見え、年齢に関係なく、様々な体験やつながり、そして他者を理解したり相手と自分との関係性を深める「場」

が大切であり、様々な人との生活を当たり前とする環境づくりが必要であると思います。さて、4月といえば新しい環境で新たな出会いが始まります。学校では毎年、子どもたちは新しい教科書が配られます。発達段階に応じ考えられた素晴らしい書物です。現在は当たり前のように無償で配布されていますが…。

次の文章は、小学校6年生の副読本『ひかり』に掲載されているものです。現在があるのは、全ての先人に支えられてきた歴史によるものです。一読していただければ幸いです。



〔教科書無償運動〕

今、私たちは新学期を迎えるたびに、真新しい教科書を手にし、ページをめくりながら、これから始まる勉強に期待をいだき進級した喜びをかみしめることができます。

しかし、この教科書も今から五十年ほど前までは、みんなに新しい教科書が無償で配られるというわけではありませんでした。

そのころ、教科書は、毎年、各家庭でそろえることになっていました。古い教科書をゆずってもらったり、古くて使えないものやないものだけを買ってそろえたり、毎年、三月になると、親たちは苦勞をしていました。新しい教科書を全部そろえると、小学校で七百元、中学校で千二百元(注①)ほどかかりました。一日働いても三百円ほどの収入しかなく、子どもの数が今に比べて多かったその当時は、教科書をそろえるだけでも大変な出費でした。

一九六〇年(昭和三十五年)ごろになると、物価も値上がりを始め、教育費の保護者負担を軽

くしようという動きも出始めました。

ある地区の保護者を中心とした勉強会の中で、憲法の第二十六條に記されている『全ての国民は、法律の定めるところにより、その保護する子女に普通教育を受けさせる義務を負う。義務教育は、これを無償とする。』という部分が問題になりました。

「義務教育は、これを無償とするのだから、教科書を買うのはおかしいのじゃないのか。憲法で定められたことが守られていない。」ということが話し合われました。

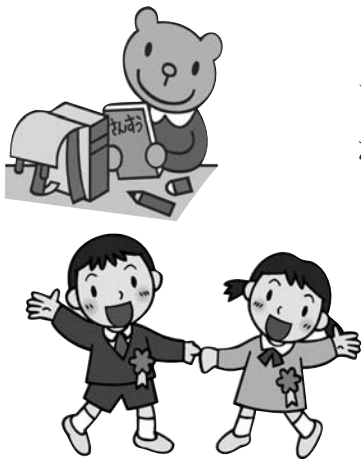
そして、一九六二年(昭和三十年)三月に、「いくら請願しても効果はない。無償で配られるまで買わずにがんばろう。」という提案がなされ、校区のいろいろな団体が中心になって、『中学校教科書をタダにする会』がつくられました。

この会は、各地で集会を開き、署名運動を始め、いっしょにたたかう団体もふやしていききました。教科書の無償要求は、憲法を守るための運動であると気づいた人々は、この運動をささ

てきました。

その要求の正しさが理解され、一週間もたたないうちに一つの地区で千六百名もの署名が集まりました。その要求を高知市の教育委員会に持ち込み、『憲法を守るために教科書を買わない』という運動を始めました。新聞やテレビにも取り上げられ注目をあびました。

教育委員会は、『教科書をタダにする会』との交渉によって、無償の要求は正しいと認めましたが、全員に教科書を配るとなると市の負担能力をこえるので、買える能力のある人は買ってほしいと答えるばかりで、教科書無償という約束はできなかつたため、二千名の子どもたちのうち約八割にあたる千六百名が、教科書を買わずに新学期がスタートしました。



学校では、教科書を持たない多くの子どもたちのために、先生たちは、ガリ版刷り(注②)のプリントを使って毎日授業を進めていきました。

しかし、この運動の正しさを理解し、賛成していた人も多くいましたが、「教科書を使って授業をしてほしい。」といった声をあげる人も出てきました。そして、運動から離れていったり、教科書を買ったりする人々もふえてきました。運動は五月に入り、教科書を買うのがむずかしいと認められた小学校の四分の一の子どもに教科書が配られました。すべての子どもたちに無償で配るべきだという要求は、まだまだ満たされていませんでしたが、もうこれ以上プリントでの授業は続けられないとして運動は打ち切ることになりました。

しかし、この運動はその後、運動の正しさがたくさんの人々や団体・政党に支持され、全国的な運動に発展し、国会で大きな問題として取り上げられました。

政府もついにこの要求の正しさを認め、一九六三年(昭和三十三年)に法律を作って、翌年から教科書が無償で配られることになりました。

私たちが、今なにげなく手にしている一冊一冊の教科書には、先人の子どもたちに平等に学習ができるようにという、国民の権利を守ろうとして立ち上がり、粘り強い、厳しい運動を進めていった歴史があります。

(高知県市民会館資料より)
※文章の一部を省略しています。

(注①)現在の金額で七百円は一万四千元。千二百円は二万四千元ぐらい。

(注②)ろうをしみこませた紙に、書くとガリガリと音がする鉄筆で書いた文字を、インクローラーで刷ると文字が下紙にプリントされる。ガリガリと音がするのでガリ版印刷。

【参考文献】

徳島県小学校人権教育研究会
「ひかり6年」



令和5年2月5日(日)午後1時30分から阿波海南文化村 文化館ホールで、人権啓発講演会を開催しました。落語家で僧侶の露の団姫さんをお招きし、

「一隅を照らす
～自分の持ち場で一生懸命～」

という演題で、ご講演頂きました。

舞台は二本立てで、前半に落語を演じ、一旦下がって今度は着物から袈裟へ着替えられ、後半に講演が行われました。

伝教大師・最澄上人の教えである『一隅を照らす』という言葉^{いちぐう}をキーワードに、命の大切さや人権の尊さについて、持ち前の落語を織りまぜての軽妙な語り口で会場を沸かせました。会場からの質問にも快く答えられ、開演から終演まで和やかなムードに包まれました。



聴講に訪れた総勢210人余りの来場者一人ひとりに、一隅を照らして頂けたのではないのでしょうか。

南阿波(阿南・那賀・美波・牟岐・海陽)定住自立圏連携事業 第47回(令和5年度)成人大学受講生募集

阿南市・那賀町・美波町・牟岐町・海陽町の住民を対象とした成人大学です。1年を通して講演や現地研修などの学びの場が提供されます。様々なことを学びたい、町外の方と交流したいなど意欲のある方はぜひお申し込み下さい。

募集定員：20人 ※定員を超えた場合は抽選を行い、開講式の案内をもって当選とします。

受講資格：学習意欲のある人

受講料：年間1,500円(別途、現地研修などは実費負担があります)

受講場所：阿南市文化会館ほか

申込方法：ハガキに**住所・氏名・フリガナ・電話番号**を記入の上、**4月14日(金)**までに
阿南市教育委員会 生涯学習課へお申し込みください。

なお、電話での受付はいたしませんので、ご了承ください。

※新型コロナウイルス感染症の状況により、内容変更や中止をする場合があります。

申し込み・問い合わせ先：

〒774-8501 阿南市富岡町トノ町12番地3 阿南市教育委員会 生涯学習課 TEL：0884-22-3391

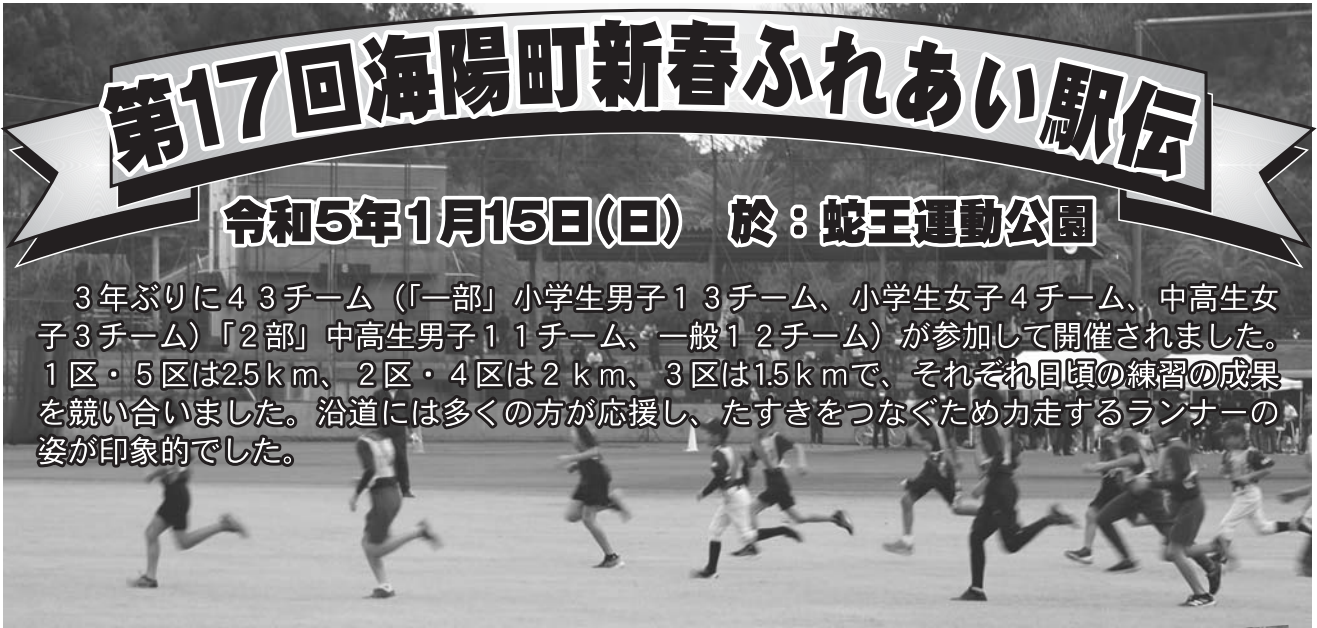
令和5年度 成人大学講座内容・日程

日 時	テ ー マ	場 所	内 容	講 師
5月14日(日) 15:00	◇開講式 第1回講座	文化会館 2階研修室	特殊詐欺の現状と その対策について	徳島県警察本部 生活安全企画課 指導官
6月5日(月) ～8日(木) 13:30～15:30	選択講座【情報】	富岡公民館 OA室	スマートフォン講座	NPO法人いきいき ネットとくしま
6月24日(土) 15:00	第2回講座【医療】	文化会館 2階研修室	今、見直そう！ 生活習慣と薬の知識	徳島大学病院薬剤部 試験室長 小川 敦 氏
9月23日(土) ①9:30～10:30 ②11:00～12:00 ③13:30～14:30	選択講座【科学】	科学センター	プラネタリウムで 星空を楽しもう	科学センター 天文職員 今村 和義 氏
10月7日(土) 15:00	第3回講座【歴史】	文化会館 2階研修室	阿南と古事記	阿波古事記研究会 三村 隆範 氏
11月4日(土) 11月11日(土)	選択講座【現地研修】	海部郡美波町	美波町散策(日和佐地区)	美波町観光協会 徳永 聖二 氏
11月下旬	選択講座【防災】	陸上自衛隊 徳島駐屯地	自衛隊施設内見学	徳島駐屯地 司令職務班
12月3日(日) 10:00(予定)	第4回講座 【人権フェスティバル参加】	文化会館 (予定)	未定	未定
1月27日(日) 13:30(予定)	第5回講座 【生涯学習推進大会参加】	文化会館 2階研修室	未定	未定
2月24日(土) 15:00	第6回講座【環境】 ◇閉講式	文化会館2階 研修室	エネルギーの現状と 課題について(仮)	四国電力(株) 徳島支店

第17回海陽町新春ふれあい駅伝

令和5年1月15日(日) 於：蛇王運動公園

3年ぶりに43チーム(「一部」小学生男子13チーム、小学生女子4チーム、中高生女子3チーム)「2部」中高生男子11チーム、一般12チーム)が参加して開催されました。1区・5区は2.5km、2区・4区は2km、3区は1.5kmで、それぞれ目頃の練習の成果を競い合いました。沿道には多くの方が応援し、たすきをつなぐため力走するランナーの姿が印象的でした。



【団体表彰】

○ 小学生男子の部

	チーム名	タイム (分:秒)
第1位	日和佐バロンズA	43:58
第2位	相生クラブA	44:14
第3位	相生クラブB	44:54



○ 小学生女子の部

	チーム名	タイム (分:秒)
第1位	みなみスポーツクラブ	46:16
第2位	穴喰杉の子	50:31
第3位	海南ホーンズ	53:13

○ 中高生女子の部

	チーム名	タイム (分:秒)
第1位	海中ガールズ	51:01
第2位	穴喰中学校G	53:51
第3位	牟岐中	55:15

○ 中高生男子の部

	チーム名	タイム (分:秒)
第1位	ブラボー	37:01
第2位	牟岐中A	40:14
第3位	海陽中バスケ部A	41:05



○ 一般の部

	チーム名	タイム (分:秒)
第1位	パンデパパ あんぱんチーム	34:21
第2位	パンデパパ メロンパンチーム	40:13
第3位	牟岐警察署	45:13

【区間賞】

【1部】

○ 小学生男子の部

	チーム名	氏名	タイム (分:秒)
第1区	海部っ子2023	坂本 風樹	9:39
第2区	日和佐バロンズA	米田 蒼	7:55
第3区	相生クラブB	水口 陸	6:07
第4区	相生クラブA	福井 陽翔	8:44
第5区	日和佐バロンズA	佐藤 悠生	10:37

○ 小学生女子の部

	チーム名	氏名	タイム (分:秒)
第1区	みなみスポーツクラブ	尾崎瑚々呂	10:24
第2区	みなみスポーツクラブ	野間はぐみ	8:56
第3区	みなみスポーツクラブ	浜 希実	6:42
第4区	みなみスポーツクラブ	尾崎 璃音	8:53
第5区	海南ホーンズ	勝浦なごみ	11:07



○ 中高生女子の部

	チーム名	氏名	タイム (分:秒)
第1区	海中ガールズ	畠口 真凜	10:34
第2区	海中ガールズ	谷 珠菜	9:26
第3区	牟岐中	青田 芽依	7:34
第4区	海中ガールズ	清水 夢來	10:18
第5区	宍喰中学校G	白濱 柚子	11:44

【2部】

○ 中高生男子の部

	チーム名	氏名	タイム (分:秒)
第1区	ブラボー	松本 優大	8:42
第2区	ブラボー	芝田 健人	7:14
第3区	ブラボー	大石宗一郎	5:15
第4区	ブラボー	柘井 奨菜	6:57
第5区	ブラボー	古川 歩武	8:53

○ 一般の部

	チーム名	氏名	タイム (分:秒)
第1区	パンデパパ あんぱんチーム	祖川 昌也	8:03
第2区	パンデパパ あんぱんチーム	才力 慎也	6:23
第3区	パンデパパ あんぱんチーム	佐古山拓也	4:48
第4区	パンデパパ あんぱんチーム	藤田 匠也	6:56
第5区	パンデパパ あんぱんチーム	池田 竣哉	8:11



NPO法人海陽愛あいクラブ

2022年度「オンラインでつながるレクスポーツ配信事業」について

2022年度に徳島県スポーツDX（デジタル・トランスフォーメーション）事業としまして、インターネットで町内のデイサービス施設をつないでオンラインレク体操を実施しました。



繋がリレクリエーションや足腰体操を実施しました。自分の姿が前の画面に映っていたり、画面の向こう側の人と会話ができることで普段にはない刺激があったようです。こちらから声かけを行うと笑顔で手を振ってくださったり、クイズを出題すると素早く回答されたり、いつも以上に真剣に取り組んでくださいました。

2022年11月に合計12回開催

～タイムスケジュール（40分間）～

- ・手指体操&レクリエーション
- ・椅子に座ってのストレッチ体操
- ・転倒予防体操&足腰体操
- ・クイズ&脳トレ体操



新たな取り組みを行いクラブの今後の活動に繋げていきます。これからも一人でも多くの地域の皆さまがスポーツを楽しむ健康増進やいきいきとした生活の実現に向け活動を頑張ってください。



ご協力いただいたデイサービス施設

- ・デイサービスセンターわしずみ荘
- ・さつき荘デイサービスセンター
- ・老人保健施設ジャンボ緑風会
- ・デイサービスセンターいきいき
- ・デイサービスまぜのさと

どうもありがとうございました



HP



徳島県スポーツ功労者表彰受賞



海陽町体育協会
会長 西山幹男

2月11日(土)、徳島グランヴィリオホテルにて徳島県スポーツ協会表彰式が行われ、海陽町体育協会会長 西山幹男氏がスポーツ功労者表彰を受賞されました。

西山氏は、永年にわたり体育協会会長・バレーボール指導者を務められるとともに、地域住民の親睦交流や地域スポーツの普及・振興に多大な貢献をされました。

この度は誠にありがとうございます。これからも後進のご指導等よろしくお願い申し上げます。

小さな掛金、大きな補償

スポーツ安全保険®

保険期間

令和5年4月1日午前0時から
令和6年3月31日午後12時まで

保険内容

詳しい保険の内容は、
ホームページなどをご覧ください。

4名以上の団体・グループで
ご加入ください。

スポあんネット

パソコン・スマホで
だれでも、かんたん
便利に使いやすい!



で簡単お手続き

公益財団法人 スポーツ安全協会



スポーツ安全保険 検索

加入区分・掛金

加入対象者	補償対象となる団体・グループ活動	加入区分	年間掛金 (1人当たり)	
子ども (中学生以下)	スポーツ活動	A1	800円	
	文化活動 ボランティア活動 地域活動			
大人 (高校生以上)	スポーツ活動(指導・審判を含む)	C 64歳以下	1,850円	
	●A2区分で対象となる活動も補償されます。	B 65歳以上	1,200円	
	文化活動 ボランティア活動 地域活動	A2	800円	
	準備・片付け・応援・団体の送迎 ●スポーツ活動中の事故は補償の対象外です。			
全年齢	危険度の高いスポーツ(指導・審判を含む)	D	11,000円	
子ども (中学生以下)	ワ(個人活動補償型)	A1 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	AW	1,450円
		C 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	CW 64歳以下	4,850円
		B 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	BW 65歳以上	5,000円

*特別支援学校高等部の生徒を含みます。 年間掛金には、制度運営費(10円)が含まれます。
(注)C・B・CW・BW区分の年齢の判断は「令和5年4月1日」を基準とします。

本広告はスポーツ安全保険の概要を掲載しており、ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」及び「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款及び特約書によりますが、ご不明の点については(公財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険(株)へお問い合わせください。

〈引受幹事保険会社〉

東京海上日動火災保険株式会社
担当課 公務第2部 文教公務室 ☎ 0120-233-801
(平日9:00~17:00)

〈共同引受保険会社(令和5年4月予定)〉

あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン 大同火災 東京海上日動 日新火災 三井住友海上 AIG損保

徳島インディゴソックス野球教室より

令和5年3月2日(木)～6日(月)に、徳島インディゴソックスの選手たちが町内の各小学校を訪問し、児童たちと交流をしました。

グラウンドに出て、球の投げ方や打ち方を教わり、一人ひとりが実際に身体を動かして、体験しました。室内では、将来の夢について話し合い、夢の実現に向けて目標をつくることの大切さを学習しました。ティーボールでは、ゲーム形式で選手も児童たちといっしょにプレーし、楽しい思い出をつくりました。

また、スポーツ少年団の海部クラブの選手たちは、投球や捕球、打撃の基本的な動作を学習しました。プロを目指してトレーニングを続けている選手たちから、直接指導を受けたこの貴重な経験は、日々の練習の中できっと生きてくるでしょう。



▲ 海南小でのお話



▲ 海南小での体験学習



▲ 海部小でのお話



▲ 海部小での体験学習



▲ 穴喰小での体験学習



▲ 穴喰小での体験学習



▲ 野球指導 ▲

男子第52回・女子第30回 徳島県中学新人駅伝競走大会 結果

2月11日 鳴門周回コース

【男子（3km）】

28位 海陽 1時間05分26秒

（田窪海生①、長尾一蔵②、上村京太郎②、元木わか苗②、北村悠生②、菅本晟孝①）

46位 穴喰 1時間09分45秒

（戎谷春希②、上田悠翔①、正木涼誠②、竹内清悟②、小泉 純①、戎谷弥雲②）



【女子（1・5区 3km, 2~4区 2km）】

35位 海陽 54分55秒

（畠口眞凜②、中島実果①、元木 縁②、溝口木乃香②、谷 珠菜②）

第57回 徳島県中学校新人卓球学年別大会 結果

2月25日 鳴門アミノバリューホール

【男子】

2年 シングルス 第5位 浦川智祐（海陽中）

準々決勝 浦川 0 - 3 浜野（国府）



スマホに子守をさせないで!



海陽町地域子育て支援センターあのね

BP1・BP2認定ファシリテーター 幸谷 友子

私は今、海陽町地域子育て支援センターあのねのスタッフとして子育て支援の活動をしています。特に、「親子の絆づくりプログラム」(BPプログラム)を担当しています。はじめて赤ちゃんを育てているお母さんたちに「親子の絆づくりプログラム"赤ちゃんがきた!"」(BP1プログラム)、2人目以上の赤ちゃんを育てているお母さんたちに「親子の絆づくりプログラム"きょうだいが生まれた"」(BP2プログラム)をファシリテーターとして実施しています。参加してくれているお母さんたちのお悩みで毎回でるのが、「スマホ」です。「泣き止まなかったり、ぐずったりした時スマホの子育てアプリやユーチューブ動画を見せると泣き止むのでつい見せてしまう。」「上の子がユーチューブ動画に夢中になってなかなかやめれない。やめさすと泣き叫ぶ」など。1歳未満の乳児でも、2・3歳の幼児でもちいさな指でスマホの画面を上手にスクロールできるのです。いともたやすく扱えるようになってきているのです。しかし、電子メディアやその世界には、すでに言われているような、身体や脳への影響や依存性など気になる問題もたくさん横たわっています。東北大学での3年間にわたる追跡調査の結果、スマホが子どもの脳の発達を遅らせることが明らかになりました。特に身体も脳も未熟な子どもは、なおさらその影響を受けることになるでしょう。

BPプログラムでは公益社団法人日本小児科医会からだされている「スマホに子守をさせないで!」のリーフレットを使用して話しあい、考えてもらっています。日本小児科医会は2004年に「子どもと電子メディア」の問題に対する提言を発表し10年余りにわたって啓発活動を行ってきました。

リーフレットにはこの「5つの提言」が書かれています。

- ①2歳までは、テレビ・DVDの視聴を控えましょう。
- ②授乳中、食事時のテレビ・DVDの視聴はやめましょう。
- ③すべて電子メディア(テレビ・DVD・電子ゲーム・スマホ・タブレット端末などの電子映像メディア機器)への接触する総時間を制限することが重要です。1日2時間までを目安と考えます。
- ④子ども部屋にはテレビ・DVDプレーヤー・パーソナルコンピューターを置かないようにしましょう。
- ⑤保護者と子どもでメディアを上手に利用するルールをつくりましょう。

この「5つの提言」についての話し合いで毎回するのは「守るのが難しい!無理!」です。スマホなどの電子メディアを「使わないようにする」が即、実行できたら一番いいですが、諦めているのではないですが、難しいのが実情です。BPプログラムでは、リーフレットに書かれているアドバイスを参考にして話し合い・考えてもらい「できることからまずやってみよう!」で日常生活の場で、お子さんとの関係でトライしてもらっています。

リーフレットに書かれているアドバイスは

- ・赤ちゃんに話しかけましょう

授乳中は、テレビなども消し、ゆったりとした気分で赤ちゃんに向き合しましょう。

「アーアー」「ウーウー」などの声を出したときには、赤ちゃんと目と目を合わせ話しかけ

てあげましょう。赤ちゃんの安心感と親子の愛着が生まれます。

意味のある単語は1歳半頃に出るようになります。それまでは、赤ちゃんは「言葉の貯金」をしているのです。言葉が話せない赤ちゃんにも、積極的に話しかけることが、言葉の発達にとっても大事です。そのためにも、特に2歳までは子どもにDVD、スマホ、タブレットなど見せることは控えることをお勧めします。

- ・親子が同じものに向き合って過ごす「絵本の読み聞かせ」は親子が共に育つ大切な時間です。
- ・散歩や外遊びなどで親と一緒に過ごすことは子どもの体力・運動能力そして五感や共感力を育みます。遊びの中で自分の体をコントロール出来るようになり、人、自然、物とのふれあいの中で、赤ちゃんのさまざまな能力が育っていきます。特にお父さんやお母さんなどと同じものを見て、自分の気持ちに共感してもらうという体験は、自己肯定感を育て、心の発達の基礎になります。

トライ後の嬉しい報告があります。「テレビを消して授乳するようにしたら、赤ちゃんとの静かな時間を取り戻せたように思う。」「赤ちゃんを家族にみてもらい、上の子と一緒に散歩に出かけたり、遊ぶように意識的にしてみた。上の子のぐずりが少なくなり、ぐずった時にスマホをみせてしまっていたが、スマホの出番が少なくなっている。」「ぐずった時にスマホを見せていたが、『絵本の読み聞かせ』をしてみたところ、ぐずりが止まった。びっくり！」など。スマホなどの電子メディアの使い方、親子の関係が変わってきています。親子の絆づくりが進展しています。



BPプログラムに参加されたお母さんたちはお母さん自身のスマホの使用についても気づきがありました。それは親のスマホ使用によって親子の交流が中断され、悪影響がでる「テクノフェレンス」です。乳幼児は本能的に親との愛着を求め（愛着行動）、親との関わり合いの中で身言葉や言葉を育みます。ところが、親の過度なスマホ使用は、子どもへの注意力を低下させたり、親子の対話を阻害したりします。その結果、子どものストレスや問題行動を増大させたり、言語発達に悪影響をおよぼしたりすることが分かってきています。出産や子育ては、人生が一変するほどの体験であり、子どもを育てるのが難しい時代になってきています。情報やアドバイスなどを求めてスマホを活用する機会も時間も多くなっています。極端な例に「スマホを見ながら赤ちゃんに授乳・哺乳。赤ちゃんを見ていないので、赤ちゃんからの合図に気づかず、ミルクを与えすぎてしまった。」「食事中、親がスマホを見ながら食べていて、子どもへの注意が低下。子どもに話しかけられても曖昧な返事、いつ食べ終わったのかもわからない」などがあります。

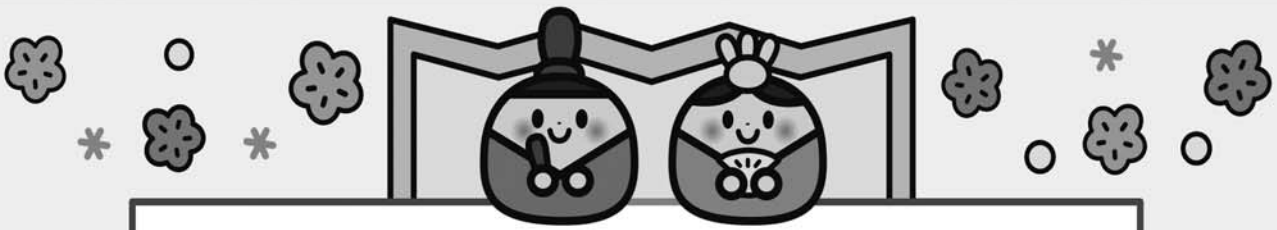


BPプログラムに参加されたお母さんたちは子どものスマホ使用と親のスマホ使用を一緒に考え・見直すことが大切・必要にも気づいてくれています。

このように今、やれること、気づいたことから実行すれば、変わってきています！

スマホに子守をさせないで！今、できること・気づいた事からトライしてみませんか。

日本小児科医会「5つの提言」のできる事からトライしてみませんか。



ことしも"おひなさん"をかざったよ!

ひな祭りの季節がやって来ました。一人ひとり、お気に入りのおひなさんを作って、友達とみんなで飾りつけました。どれもみんな可愛らしい。楽しいひな祭りができました。



海南保育所



海陽幼稚園

大里松原への松の植樹



令和5年2月17日(金)の午後、大里松原海岸で海陽中学校の3年生38名が松を植樹しました。防風林、防潮林としての重要な役目をする松林がマツクイムシの被害などで減少しており、きれいな自然景観(白砂青松100選)を守るためにも欠かせない活動として続けられています。



【参加した生徒たちの声】

「プロがやったら一瞬でおわるのに、私たちのために貴重な体験の機会を与えていただき、ありがとうございます。たのしかった。」



「海陽町を自然災害から守るために植樹をして松林にすることはいいことだと思います。」「松の植樹をするのに、いろいろな方が準備してくれて、なかなか良い体験になりました。」

穴喰俳句 二月例会より

寒林を鳥籠とする一羽あり	新井駿也
健やかな母の咀嚼 <small>そしやく</small> や年明け	新井久実
冬ぬくし「ばあちゃん」と呼ぶ響好き	朝賀ます美
忘れたい忘れたくない去年今年	山本球子
寄り合ひておしやべりの会外は雪	寺崎照代
介護とはやさしき言葉ねぎ坊主	長岡達江
端正な一葉点字の年賀状	外山千佳
対岸に灯す船宿沓え返る	元木朱子
こまやかな望みをひとつ初日記	川野佳代
一本の木に会ひに行く春隣	間戸谷恵子
暗がりのはうへも転げ鬼の豆	木下野生

海南俳句 二月例会より

吹きまくる雪の中へと物買ひに	田中たち子
一言をぐつと呑み込む松の内	新居利之
冬木立汽車に煙のありし頃	谷口洋根子
草の芽や散歩嫌いの犬連れて	吉田公子
春隣少し派手目の靴買うて	橋本幸子
寒鯉の色重なりて動きなく	木村みちよ
霜柱踏まねば用がすまされぬ	山本達平



海部俳句会

早春の風に誘われ田に入る	津田 一
新聞のインクの匂い冬日向	西本 公明
生きられるかぎり生きなきや鶴鳴く日	榊原 礼子
夫への便りは片道切符よ梅蕾む	南 歌子
白雲の気ままに遊ぶ春の空	元木 美枝子
愛猫や癒してくれて春うれひ	川野 照美
春一番いかにとかせりマイナンバー	佐藤 美代子
梅かおる買い物帰りの角の道	宍戸 道子
流す句に追いまといつく花筏	濱川 雅男
大風に寒さにも耐え大柏	村田 恵巳
早春の朝と昼との寒暖差	宍戸 保夫
The spring breeze is blowing, The scent of smouldering straw	関山 無門
春風や くすぶる藁の 香りかな	

公民館報2月号の俳句が間違つて掲載されましたので訂正致します。

(誤) 冬吠える倒れるもんか冬木立

(正) 風吠える倒れるもんか冬木立

海陽短歌会

初詣での帰りに撫でる狛犬に健康ねがう近年なりし	小笹 仁子
一様に空を仰ぎて手を伸ばし飛び来る餅に歓声あがる	桑村 未貴子
梅の花ひらきて春をいざなえりみかんを枝にメジロを待てり	大久保スエ子
那佐湾を詠みし歌友を偲びつつ高台に立ちながめておりぬ	土谷 公代
チリチリと切り干し大根ちぢむ音聞こえてきそうな冬の陽だまり	蛭子 美恵子
キラキラと朝日に映える波頭寒き我が身に届きしひかり	柙岡 節子
立春は名のみにあらず草かげに新芽萌え初め春の近づく	細野 綾子

募集中!

☆各会で会員を募集しています。初心者の方も大歓迎です。

〈お問い合わせ先〉

電話 0884-733100 〈海陽町教育委員会まで〉



せき船・だんじり からみた 大里八幡さんの秋祭り展



令和5年

4月29日(土)~6月25日(日)

【開館時間】9:00~17:00 (入館は16:30まで)

【休館日】毎週月曜日 (月曜が祝日の場合はその翌日が休館日)

祭りの懐かしい
写真など展示とともに
せき船やだんじりのコースを
紹介しています。

阿波海南文化村

海陽町立博物館